

【法人の概要】

代表者名	岩下 正孝		所管部(局)課	森林環境部県有林課		
所在地	北杜市高根町清里3545-1		電話番号	0551-48-3151		
ホームページURL	www.kiyosatonomori.co.jp		E-mailアドレス	center@kiyosatonomori.co.jp		
資本金(基本財産)	10,000	千円	設立年月日	昭和60年4月10日		
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額		出資比率
	1	山梨県		4,500	千円	45.0 %
	2	念場ヶ原山保護財産区		3,000	千円	30.0 %
	3	(株)清里の森管理公社		2,500	千円	25.0 %
	4				千円	0.0 %
	5				千円	0.0 %
	6				千円	0.0 %
	7				千円	0.0 %
	8				千円	0.0 %
	9				千円	0.0 %
	10				千円	0.0 %
その他	団体(者)			千円	0.0 %	
設目経概況	「清里の森」は、地域の特性を生かした保健休養的で多様な活用を推進することによって、地域の経済的・文化的な振興並びに県有林経営の活性化を図ることを目的とした県有林の高度活用事業のひとつとして山梨県が設置したものであり、別荘地区とテニスコートや芝生広場等のセンター施設地区からなる保健休養施設である。(株)清里の森管理公社は、この「清里の森」を管理経営し、別荘利用者及び一般来訪者に対し、様々なサービスを提供することにより、同事業の目的の達成に資するため設立された。					

【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H19年度	H20年度	H21年度
事業1 別荘地管理事業(共益費)	別荘地区内の道路など共用部分の維持管理業務	51,461	51,466	51,083
事業2 収益施設運営業務	テニスコート、パークゴルフ場、ディスクゴルフ場、売店、食堂、テナント施設の運営及び別荘入居者への個別サービス、別荘仲介業務	42,188	39,461	43,614
事業3 文化振興・施設管理運営業務(1.2を除く全て)	文化振興を図るためのコンサートや木工・陶芸教室の開催その他施設管理運営業務	28,930	27,016	7,902

【組織】

年度	平成20年度					平成21年度					平成22年度				
	職プロパ員	派遣兼務	県職員	県OB	その他	職プロパ員	派遣兼務	県職員	県OB	その他	職プロパ員	派遣兼務	県職員	県OB	その他
4月1日現在の人員															
役員	取締役(理事)(常勤)	1			1	1			1		1			1	
	取締役(理事)(非常勤)	4		2	2	4		2	2	2	4		2	2	2
	監査役(監事)(常勤)	0				0					0				
	監査役(監事)(非常勤)	2			2	2				2	2				2
	評議員	0				0					0				
計	7	0	2	1	4	7	0	2	1	4	7	0	2	1	4
職員	管理職	2	2			2	2			2	2				
	一般職員	4	4			3	3			3	3				
	臨時職員	0				0				0					
	非常勤職員	1	1			1	1			1	1				
計	7	7	0	0	0	6	6	0	0	0	6	6	0	0	0
プロパー職員の年齢構成(H23.4.1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計							
	男性			1	3		1	5	役常員勤	※	(千円)※				
	女性				1			1							
	合計	0	0	1	4	0	1	6	職常員勤	43	(千円)5,904				

※常勤役員は1名のため個人情報保護の観点から、非公表。

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		19年度	20年度	21年度	増減(21-20)
収支状況	受託事業収入	18,226	14,155	0	△ 14,155
	自主事業収入	52,893	52,322	51,516	△ 806
	補助金収入	0	0	0	0
	運用益収入	0	0	0	0
	その他の経常収入	54,866	52,660	51,505	△ 1,155
	経常収入 計	125,985	119,137	103,021	△ 16,116
	人件費	49,958	49,693	42,019	△ 7,674
	その他の経常支出(費用)	68,102	63,681	57,495	△ 6,186
	経常支出(費用) 計	118,060	113,374	99,514	△ 13,860
	経常損益	7,925	5,763	3,507	△ 2,256
	特別利益(経常外収入)	516	0	0	0
	特別損失(経常外支出)	0	0	0	0
	法人税等	2,651	1,627	1,008	△ 619
	当期損益	5,790	4,136	2,499	△ 1,637
	前期繰越利益(損失)	21,839	27,629	31,765	4,136
	当期末処分利益(損失)	27,629	31,765	34,264	2,499
次期繰越利益(損失)	27,629	31,765	34,264	2,499	

項 目		19年度	20年度	21年度	増減(21-20)
財務状況	流動資産	59,505	56,608	52,056	△ 4,552
	固定資産	17,435	22,558	19,029	△ 3,529
	資産 計	76,940	79,166	71,085	△ 8,081
	流動負債	22,415	19,725	9,081	△ 10,644
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	13,396	14,176	14,240	64
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	35,811	33,901	23,321	△ 10,580
	資本金	10,000	10,000	10,000	0
	資本剰余金	△ 2,500	△ 2,500	△ 2,500	0
	利益剰余金	33,629	37,765	40,264	2,499
	資本 計	41,129	45,265	47,764	2,499

(単位:千円)

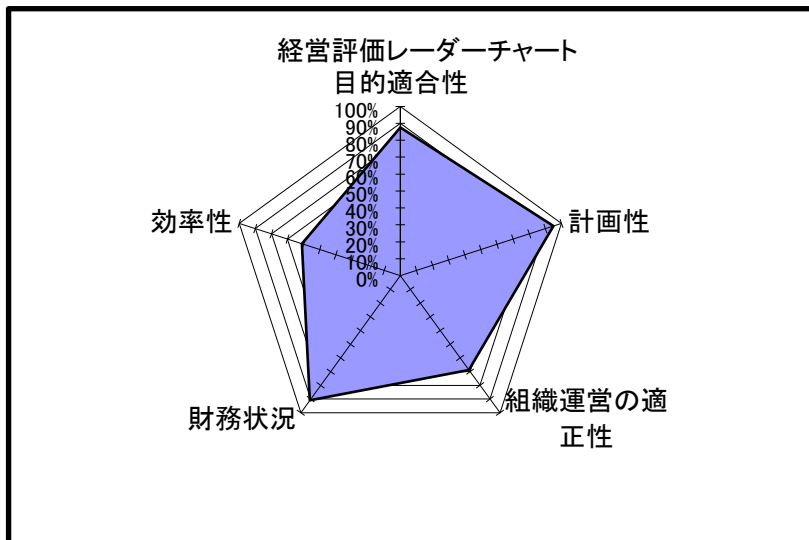
項 目		19年度	20年度	21年度	増減(21-20)
県の財政的関与の状況	負担金	0	0	0	0
	人件費(派遣法)補助金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)補助金	0	0	0	0
	人件費以外の補助金	0	0	0	0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	0	0	0	0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)委託金	0	0	0	0
	人件費以外の委託金	18,226	14,155	0	△ 14,155
	委託金 計	18,226	14,155	0	△ 14,155
	県支出金 計	18,226	14,155	0	△ 14,155
県の財政的関与の割合(%)	14.5	11.9	0.0	△ 12	
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

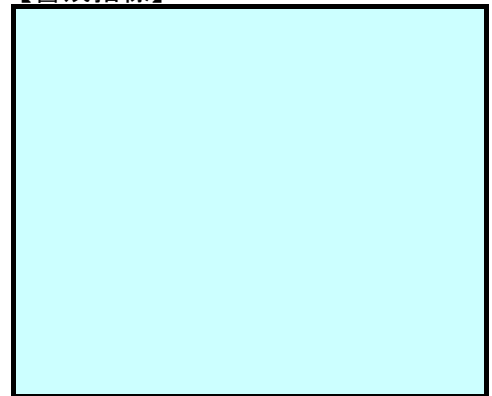
項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金 (運営費)	
補助金 (事業費)	
委託金	地域の文化振興を図るため「森の音楽堂」を使用したコンサートや「森の工房」を使用した木工・陶芸教室の開催及び芝生広場外緑地帯の管理(H19、H20)
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	4	16	14	87.5%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	19	95.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	11	68.8%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	40	90.9%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	9	36	22	61.1%
合計		33	132	106	80.3%



【警戒指標】



【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	設立の目的である県有林高度活用事業の主旨に沿い、概ね適切な事業展開を行っていると考え
計画性	平成18年に見直し策定した中期経営5カ年計画(H20再改正)に沿い、項目ごとに経営目標を定めて改善策に取り組んでいる。
組織運営の適正性	職員の絶対数が少ないことから組織運営の評価に係る制度設計が当社の現況を反映していない面もあるが、外部監査役の設置など適正な組織運営に努めている。
財務状況	平成21年度からの県委託事業廃止により事業収入は減少したが、人件費ほか諸経費の削減によって利益は確保されており、経営の健全性及び財務の安全性は保たれていると考える。
効率性	効率性の評価に係る制度設計が必ずしも当社の現況を反映していない面もあるが、管理費の抑制に努めながら施設の有効活用と収益性の向上につながる事業内容の見直しを行っている。
総合的評価	委託事業の廃止による事業収入の減少や観光事業を取り巻く環境が依然厳しい状況下で、経営計画に基づく各対策の確実な実行により経営状況は概ね順調に推移していると考え。



対応策	平成22年度を最終年度とする現行中期経営計画に基づく各対策の確実な実行と、現行計画の達成状況を踏まえ、経営環境や別荘入居者を含む施設利用者ニーズ等の現状を整理、分析し、公社の経営理念、経営方針に沿った実効性のある新たな中期経営計画を策定し、更なる経営改善に取り組む。
-----	---

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	契約者アンケートにおける満足度も高く(満足～普通:81%)、住民参加の実行委員会方式で文化振興事業(涼風祭)や森づくり活動(森を育む会)に取り組むなど、設立目的である、地域の経済的・文化的な振興と県有林経営の活性化に向けた事業展開を行っている。
計画性	経営計画(H18～H22)に基づき、着実に経営改善を進めており、一定の成果を挙げているが、県委託事業の廃止など、経営環境が大きく変化するなか、現行の経営計画が終期を迎えることから、計画の達成状況や問題点や社会経済動向の整理・分析を的確に行い、これらに対応した新たな経営計画を策定して、引き続き計画的な事業運営に取り組んでいく必要がある。
組織運営の適正性	職員数が6名と少ないため、経営評価算出表による評価指標の改善は難しい面もあるが、職員の自主性・創造性を引き出すための工夫など改善の余地はあるため、平成23年度を始期する新たな経営計画に具体的な取組みを位置づけ、より適正な組織運営に取り組む必要がある。
財務状況	きめ細かなサービスの提供を目指す別荘地管理が基幹事業であることから、収益率は低位にあるが、経常損益は黒字を続けており、借入金もなく、資本金の4倍程度の利益剰余金を確保しているなど、健全な財務状況となっている。
効率性	常勤役員数を含め、最小限の人員配置であることから人件費比率等の指標の改善は難しい面もあるが、施設利用率の向上や、管理費のさらなる抑制などについて、平成23年度を始期する新たな経営計画に具体的な取組みを位置づけ、改善を進めていく必要がある。
総合的評価	避暑地のレジャー施設であるため、冬期における集客が厳しいことや、天候、景気の影響を受けやすいことなどから、経営基盤はぜい弱であるが、利用者サービスの向上や経費節減などに努めており、近年は黒字経営が続き、財務状況も賢調に推移している。 一方で、組織運営や、効率性などに改善が必要な課題があることから、現在策定を進めている新たな中期計画のなかで具体的な対応方を検討し、さらなる経営改善を進めていく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">財務状況</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;">A (75%～)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">B (60%～75%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">C (50%～60%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px;">D (～50%)</div> </div>
※ ランク下の%は得点率の範囲	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度に改定した経営計画に基づき、人件費等管理経費の削減、営業収益の確保など、経営改革を実施している。 県の文化振興等の委託事業が平成20年度に打ち切られ、収入が減少したが、経費削減などの自己努力により平成21年度も黒字経営を確保している。 冬季の収入が大きく落ち込むことや社会経済情勢の影響を受けやすい事業のため、引き続き利用者サービスの向上とコスト縮減に努めるとともに、集客効果の高いイベントを実施するなどの取り組みが望まれる。



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> 平成20年10月に改正した経営計画(～平成22年度)に沿って経営改善に取り組み、県の財政支援の縮小、繰越利益の増加など成果をあげてきたところであるが、社会経済環境の変化等に対応した経営改善を進めていくため、同計画を抜本的に見直し、平成23年度を始期とする新たな経営計画を年度内に策定する。 来年度以降、この計画に基づき、「安定した経営基盤の確保」、「より高いレベルでの別荘地管理」、「利用者サービスの向上」、「地域振興への寄与」を基本方針としたさらなる経営改革に取り組んでいく。
--